

文部科学省 令和2年度「専修学校における先端技術利活用実証研究」事業成果報告

<事業概要>

当社は、平成30年度 商業・サービス構想力強化連携支援事業(交付決定番号 20190313 近畿大 34号)において、阿部幸恵ら(東京医科大学)及び株式会社ジョリーグッドと先端技術(VR)を利用した成人・老年看護学実習用の看護教材を開発しました。

本事業では、「VRを利用したシミュレーション教材の教育効果の実証研究事業」と題し、上記で開発したVR教材の教育効果の実証検証や、基礎、地域・在宅、母性、小児、精神看護学領域それぞれで新規追加コンテンツの開発を行います。

実証研究には、埼玉医科大学附属総合医療センター専門学校、横浜中央看護専門学校、獨協医科大学附属看護専門学校三郷校にご協力いただいております。

当事業は、3ヶ年事業として取組みを継続しております。

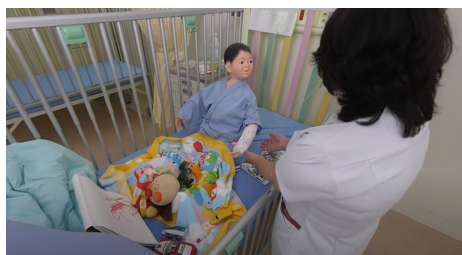
<事業成果>

・VR教材コンテンツの開発

本年度では小児、地域・在宅看護学領域でそれぞれ1コンテンツずつ、及び指導ガイド(授業の流れを示したガイド資料)を制作しました。

他領域のコンテンツは令和3年度事業での完成を目標とし、将来的には製品化を目指しております。

小児



地域在宅



左：動画コンテンツのスクリーンショット 右：撮影の様子

※動画コンテンツは専用デバイスで視聴することで、360°観察することができます。

術後の観察		3ページ
テーマ	手術直後の術式を視察しよう	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 術式の状況を理解する 手術直後の術者の状態を観望できる 	
項目	進行	グループワーク
事前課題	<p>手術直後患者の顔面や手足の温度を測ることは何故重要か？ 術後の患者の状態を観望することは、術者の状態や手術の経過を把握するために重要である。</p>	
VR体験	<p>【VR体験】 手術直後の術者の顔面や手足の温度を測ることは何故重要か？ 術後の患者の状態を観望することは、術者の状態や手術の経過を把握するために重要である。</p>	
グループワーク	<p>【グループワーク】 手術直後の術者の顔面や手足の温度を測ることは何故重要か？ 術後の患者の状態を観望することは、術者の状態や手術の経過を把握するために重要である。</p>	

指導者用授業進行ガイドの例

・教育効果を測るプレ実証研究

当初、協力校3校での実証研究を予定しておりましたが、感染症拡大の影響を受け、本年度は横浜中央看護専門学校のみでの実施となりました。

13名の学生さんにご協力いただき、実際にVRゴーグルを使用したシミュレーション授業を体験いただきました。(教材内容は「術後患者への対応」) 授業後のアンケート調査では、「リアルだった」「実習前に体験したかった」など非常に好評いただきました。

※参加者には十分な感染症対策を行った上で実施しました



授業の様子 (2020/12/11 横浜中央看護専門学校にて)

・全国 79 校の看護師養成校に対するモニター調査

ダイレクトメールによる応募を募り、参加校に対し VR ゴーグルを貸出し、オンラインで教材の活用方法などを紹介する説明会を実施、その後アンケート収集も行いました。開発の参考となるご意見を多くいただき、ぜひとも令和 3 年度以降の取組みに反映していきたいと考えております。

以上